



## トイレットペーパーはどうして巻いてあるの

### 日本に入ってきたときからロール状だった

トイレットペーパーが日本に入ってきて、急速に広まったのは昭和30年代のことです。それまでは、1枚1枚長方形に切り分けられたちり紙を使っていました。今ではほとんどの家庭で、トイレットペーパーを使っています。

日本にトイレットペーパーが入ってきたとき、それはロール状に巻かれたものでした。アメリカの会社の技術を取り入れ、トイレットペーパーを作ようになった日本では、このロール状に巻いたアメリカで決められた作り方や形をそのまま取り入れ、製造するようになりました。それで、今でも、トイレットペーパーは巻いたものになっているのです。

### トイレットペーパーに切り取り線がついているわけ

トイレットペーパーには、ミシン目のような切り取り線がついていますね。この切り取り線は、トイレットペーパーを水にとけやすくするために、ついているのです。トイレットペーパーが下水パイプの中で、丸まってしまうと、なかなか水にとけず、パイプがつまってしまう。この時、トイレットペーパーに切り取り線がついていると、水の中で楽に切れ、紙が水にとけやすくなるのです。

そのほか、切り取り線がついていると、使うときに切りやすいとか、長さの目安にするなどの理由があります。（監修・田代 脩）

